

## 消費自粛 関西にも暗雲

関西を地盤とする小売業の決算が12日、ほぼ出そろった。スーパー各社の2011年2月期決算の営業利益は増益となったものの、東日本大震災の影響で一転、先行きが不透明になった。増床や改装が相次ぐ百貨店業界でも見通しは厳しい。

### イカナゴ過敏な反応

#### スーパー

主なスーパー5社の11年2月期決算は、景気回復と経費削減努力で全社が営業増益を確保した。表が、震災と原発事故で先行きが見通せなくなった。

「マイナス要素もあれば復興需要などのプラス要素も考えられ、震災が12年2月期業績に与える影響を見通せない」。ライフコーポレーションの下吉博孝副社長は12日の記者会見で厳しい表情を浮かべた。

最大の悩みは仕入れた。夏場に向け、野菜の生産は西日本から群馬や福島に移るが、出荷制限や風評被害で安定した入荷が難しい。ライフは国内調達だけでは不足するとみて海外の調達先確保を急ぐが、レタスやキャベツなどの葉物の野菜は鮮度の関係で海外調達は難しく「価格高騰は避けられない」（同社）という。消費者の放射性物質に対する過敏な反応も悩みの種。イカナゴ(コウナゴ)から高濃度の放射性ヨウ素が

検出されると、西日本産を扱っていても、すぐに買い控えの傾向が出る状況だ。各社によると、3月は、水やカップ麺、缶詰、乾電池やカセットボンベなどが急激に売れたが、徐々に落ち着き始めているという。オークワは「震災による自粛ムードの広がりや消費減退」として、震災前に立っていた12年2月期の経常利益見通しを1億2億円引き下げた。他社は「震災の

影響は少なくとも第1四半期が終わってみないと読み切れない」とイズミヤの坂田

### 「華美な宣伝できぬ」

#### 百貨店

百貨店各社の11年2月期の決算は、減収ながら増益基調となった。大丸松坂屋百貨店を傘下にもつJフロントリテイリングや高島屋は、営業利益、純利益がともに増益。近鉄百貨店は2期ぶりに黒字転換した。経費削減が一巡し、増床などで反転攻勢に打って出る矢先に震災が起きた。12年2月期は厳しい見通しだ。表。

当面の懸念は世の中の自粛ムードだ。3月の売り上げが前年同月比で5%減った近鉄百貨店は、12年2月期の売上高が十数億円落ち込むと予測。下期(9月〜12年2月)以降は底打ちするとみるが、飯田圭児社長は「復興の先行きが見えるまで華美な宣伝はできない」。19日に大丸梅田店の全面開業を控える大丸松坂屋は、広告を自粛。関西の店舗でも売上高が年間2%減ると

### FAO09年の水産物生産量

## 初の1億6000万ト突破

天然は減少、養殖が増加  
9年連続の増加した。  
2009年世界水産物 生産量(FAOより、天然・養殖合算値)は1億6288万トと前年比2.1%増と初めて1億6000万トを突破した。2位のインドネシアは9年連続、内訳は天然生産量が0.9%減(前年比10.8%増)の8984万ト、養殖生産量が6.1%増の7304万トだった。生産量トップは中国。魚種別生産量は天然がカツオ、イワシが増加。養殖はコイ、フシが増加。海産物の増産が寄与に続き5位をキープした。

後博社長)などとして、震災前の業績予想をほぼ据え置いている。

みる。3月に全面開業した高島屋の大阪店も、年間の売り上げは約10億円下ぶれすると予測する。中元商戦にも黄信号がともる。自粛の動きに加え、包装材料がそろわず一部商品が差し替えた(近鉄百貨店)など、すでに商品供給や物流面の影響も出ている。首都圏に複数の大型店がある大丸松坂屋は、政府の要請で夏場に節電した場合営業時間の短縮や休業日の設定を検討している。減収を補うため「従業員や投資などを西日本にシフトし、関西や中部の店を底上げすることも選択肢(山本良一社長)という。

■関西の主なスーパー5社の2011年2月期決算

	売上高	営業利益	純利益
ライフコーポレーション	4808(2.6)	100(15.8)	33(¥16.6)
平和堂	3829(¥0.7)	107(11.6)	45(¥30.0)
イズミヤ	3572(¥3.1)	37(74.9)	7(—)
オークワ	2899(0.2)	65(12.0)	31(31.6)
マックスバリュ西日本	2444(9.4)	75(9.7)	35(¥16.5)

単位:億円。かっこ内は前期比増減率。▼はマイナス。カッコ内は前年同月比増減率。▲はプラス。イズミヤの数字は比較対象。ライフ、マックスバリュは単体、ほかは連結

朝日新聞  
4月13日

■大手百貨店の2012年2月期の業績見通しと震災の影響

	売上高	震災の影響額	営業利益	震災の影響額
Jフロントリテイリング	9380(¥1.3)	¥400	140(¥31.1)	¥63
大丸松坂屋	6350(¥0.5)	¥300	55(¥45.0)	¥60
高島屋	8468(¥2.6)	¥300	160(¥12.0)	¥75
そごう・西武	8137(¥3.9)	¥522	62(¥16.1)	¥88
近鉄百貨店	2900(¥1.9)	¥10~20	29(¥6.2)	算出せず

単位:億円。▼はマイナス。カッコ内は前年同月比増減率。▲はプラス。Jフロント、高島屋、近鉄百貨店は連結ベース。そごう・西武の震災の影響額は震災前の12年2月期の予想との差

### 2009年の国別水産物生産量トップ10 (単位:千ト)

国名	2007年	2008年	2009年	前年比
1 中国	56,161	57,827	60,475	104.6%
2 インドネシア	8,177	8,861	9,815	110.8%
3 インド	6,972	7,950	7,845	98.7%
4 ペルー	7,261	7,420	6,964	93.9%
5 日本	5,668	5,615	5,196	92.5%
6 フィリピン	4,718	4,972	5,083	102.2%
7 ベトナム	4,144	4,585	4,833	105.4%
8 米国	5,295	4,857	4,710	97.0%
9 チリ	4,937	4,810	4,703	97.8%
10 ロシア	3,568	3,510	3,949	112.5%

\*FAO統計より作成

